

6月7日（水）午後から平田文化館で芸術鑑賞会をおこないました。

今年度は「厚木ひまわり＋田川珠帆（たがわみほ）」さんのハーモニカの演奏と平田高校吹奏楽部の演奏、合奏を鑑賞しました。繊細な音色、また迫力のある演奏、テクニックなどの解説をいただきながら90分があつという間に過ぎ、感性に響く時間をもつことができました。

【奏者紹介】

「厚木ひまわり」さんはハーモニカ演奏のカルテット（四人組）のみなさんで、今年6月4日にFIH JAPAN ハーモニカコンテスト小編成部門で優勝されたグループです。

メンバーの萱真理江さんは平田高校の卒業生で、このたびご縁があつて演奏をお願いしました。

「田川珠帆」さんは萱さんにご紹介いただいた、ソロの複音ハーモニカ奏者で、日本芸術協会コンテストミドル部門で優勝等、数々のコンテストで卓越した成績をおさめておられます。

【生徒感想】

ハーモニカの鑑賞は初めてで、あのハーモニカからどのような音色がでるのかなと思っていたけれど、とても穏やかで心落ち着く音色だなと感じました。途中、迫力のある音でハーモニカからそんな音色もでるのかと驚きました。

ハーモニカはなかなか吹いたり演奏する機会はないかもしれないけれど、吹く機会があれば是非演奏してみたいです。

今日の演奏で改めて、音楽は人に元気・笑顔などを与える素晴らしいものだと思います。

吹き始められた時、ハーモニカの音がハモるとこんなにもきれいなんだなと思いました。

曲によってハーモニカは聴く人に切なさを感じさせたり元気を与えたりするすごい楽器なんだなと思いました。

今回の演奏会を通してハーモニカの懐かしさを与えるような音が好きになりました。

【印象に残った曲】

「コンドルは飛んで行く」・・・頭の中で広大なところを飛んでいくのが想像できた
「ハンガリー舞曲」（ソロ）・・・右と左の口の中でメロディーとリズムを分けている技術に驚きました。

「ふるさと」・・・ハーモニカのやわらかい音色と吹奏楽部の迫力のある演奏に感動しました。

普段、あまり聞くことのないハーモニカの生演奏や吹奏楽との合奏を鑑賞し、印象深い会となったようです。厚木ひまわりのみなさん、田川珠帆さん、平田高校の吹奏楽部のみなさんありがとうございました。